



長谷田公子
070-5564-6271
八幡町 44

議会報告

2025 年
9月議会特集

発行／日本共産党伊勢崎市議団
〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087
Tel.25-4854／fax24-8204



北島元雄
090-4065-2120
波志江町 3626

増える基金減る借金物価高騰から暮らしを守る財源に



2026年度予算要望書提出

9月3日～30日まで定例市議会が開かれ、昨年度の決算などが審議され、北島元雄議員が一般会計決算の総括質疑、長谷田公子議員が一般質問などを行いました。

昨年度の市税収入は定額減税で減額になりましたが、国からの補助があり実質は過去最高。国の交付金も大きく増えました。

一方、市民生活は、食料品や電気、ガスなどの高騰が生活を直撃しています。とくにコメの値上がりは、これまでも生活が大変だった世帯をさらに苦しめています。

市の物価高騰対策は相変わらず国からの臨時交付金頼みで、増え

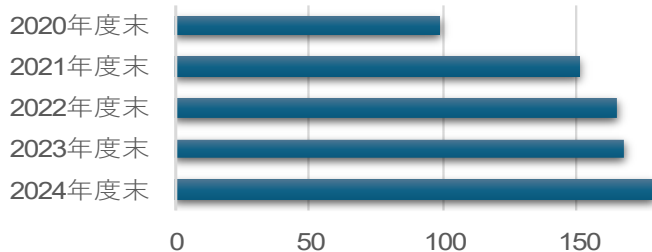
た収入を基金にため込んでいます。

臂市長就任以後の4年間で基金は80億円増え、179億円に。市の借金は60億円も減り、まさに健全財政です。

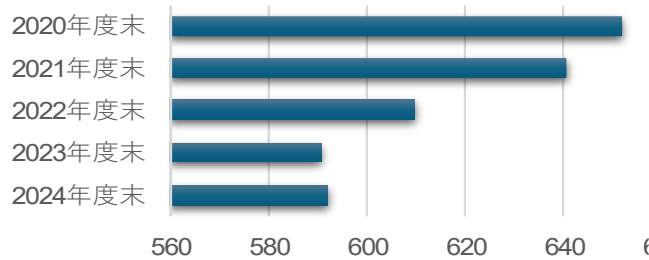
市民生活はこんなに苦しいのに市の財政は健全」と自慢、「できません。

「やるべきことをやらずに貯めこんだ基金を財源に、物価高騰から市民生活を守る施策を」と要望しました。

基金残高 億円



市債借入金残高 億円



給食費無償化請願を否決

新日本婦人の会から今議会に、来年度からの小学生を含めた学校給食費の完全無償化を求める請願が、日本共産党議員団を紹介議員として出されました。

市議会文教福祉委員会では伊勢崎クラブの議員が「請願は市長に失礼だ」と採択に反対。共産党と有志会だけの賛成で不採択になってしまいました。「市長に任せておけばよい」という待ちの姿勢だけなら、「議会は要らない」ということになってしまいます。

高校生世代の医療費無料化の時、市は「やるやる」と言いながら、ついに県内最後になり、県としての制度化を半年遅らせました。

学校給食費無償化は、すでに県内35市町村のうち25市町村が実施しています。今回も「やるやる」といいながら県内最後の実施にならないよう、議会として後押しが必要ですが、その役割を果たさない対応です。

3学期10人先生が足りない

毎年、産休・育休や病休で休む先生の代替えが見つからず、学級担任がいないなどの現象が起きています。昨年度2学期には4人、3学期には10人の先生が足りない事態に。

担任を持たない先生や、教務主任などが代替えをしていますが、本務の仕事がある上の担任です。勤務時間が長いのに、さらに大きな負担です。

子どもたちにとっては取り返しのつかない1年です。30人学級実現と正規教員拡充で、「先生になりたい」人を増やしましょう。